平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名　株式会社 魚力　　上場取引所　東
コード番号　7596　URL　http://www.uoriki.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中田　雅明
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長　(氏名) 伊藤　忠彦　TEL 042-648-8868

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,927	△4.6	210	6.7	191	4.2	119	19.8
24年3月期第1四半期	6,213	4.2	197	116.3	183	263.1	99	949.5

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△71百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　97百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.16	―
24年3月期第1四半期	6.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	14,817	12,163	82.0	831.40
24年3月期	15,559	12,520	80.5	856.43

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　12,154百万円　24年3月期　12,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,800	△1.6	240	47.5	240	111.7	140	93.7	9.58
通期	25,600	1.0	900	26.0	900	8.2	550	30.5	37.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) (株)大田魚力 、 除外 ―社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,620,000 株	24年3月期	14,620,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	181 株	24年3月期	181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,619,819 株	24年3月期1Q	14,619,848 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）連結経営成績に関する定性的情報……２
（２）連結財政状態に関する定性的情報……３
（３）連結業績予想に関する定性的情報……３

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項……３

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……３
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……３

３．四半期連結財務諸表……４

（１）四半期連結貸借対照表……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間……５
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間……６
（３）継続企業の前提に関する注記……７
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……７
（５）セグメント情報等……７

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要などから国内景気は堅調に推移し緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州債務問題の再燃による円高・株安の進行、米国の景気停滞や中国を中心とした新興国の景気減速などが懸念され、世界経済の先行きは依然として不透明な状況であります。

また、小売業界におきましても、依然として厳しい雇用・所得環境が続く中、消費者の低価格志向や日常的な支出の節約志向は根強く、これに対応した企業間の価格競争は恒常化する一方、魚資源の枯渇化や海洋環境の変化に伴う漁獲高の減少による魚価の高騰など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、平成25年３月期から平成27年３月期までの“中期経営計画～「新生魚力」クリエーションプラン”を策定し、その初年度の経営目標として「改革の断行による新生魚力の創造」を掲げ、店舗運営体制の改革やマーチャンダイジングの改革等に取り組んでまいりました。

この間、小売事業で２店舗を出店し、当第１四半期連結累計期間末の店舗数は50店舗となりました。

これらの施策の結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は59億27百万円（前年同期比4.6％減）、営業利益は２億10百万円（前年同期比6.7％増）、経常利益は１億91百万円（前年同期比4.2％増）、四半期純利益は１億19百万円（前年同期比19.8％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業におきましては、４月の既存店舗の売上高は、対前年同月比で1.6％減少したものの、５月・６月は祝祭日に合わせたイベントセールを中心に販売が好調で、第１四半期累計ではほぼ前年実績並みの売上高を確保いたしました。

新店は、５月に、東京スカイツリーに隣接する商業施設に東京ソラマチ店（東京都墨田区）を、６月にピーコックストアニッケコルトンプラザ店内に市川店（千葉県市川市）を出店し、地元のお客様から愛される地域一番店をめざして、店づくりに取り組んでおります。

一方で、店舗の作業シフトを抜本的に見直し総労働時間の削減を図るとともに、正社員からパート社員への作業移管を進めることや、残業管理を徹底するなど人件費の適正化に取り組んでまいりました。また、水道光熱費などの管理可能経費については、水道蛇口への節水コマの全店導入や、使用量の抑制等により経費削減を図ってまいりました。

これらの施策の結果、売上高は47億89百万円（前年同期比1.0％減）、営業利益は２億35百万円（前年同期比7.2％減）となりました。

②飲食事業

飲食事業におきましては、外食業界の熾烈な出店競争や価格競争が恒常化する厳しい環境にある中、メニューの抜本的見直しや、積極的な販促企画の実施等により集客に努めたことが奏功し、既存店の対前年同期比は1.5％の増加となりました。

また、前期より取り組んでまいりました店舗運営体制の見直しによる人件費の削減や、食材の見直しや仕入原価の引き下げ等を更に進め、収益構造の改革にも取り組んでまいりました。

これらの施策の結果、売上高は２億22百万円（前年同期比5.7％減）、営業利益は10百万円（前年同期比70.9％増）となりました。

③卸売事業

卸売事業におきましては、当社卸売部門では主要取引先のスーパーマーケットの取引先数の減少に伴う売上減に加え、前期計上されたメーカーへの魚卵販売を中止したため、売上高の対前年同期比は25.7%の減少となりました。

米国子会社ウオリキ・フレッシュ・インクは、売上高を順調に伸ばし対前年同期比16.3％増の４億60百万円にまで拡大し、営業利益は18百万円となりました。

なお、平成24年７月１日に吸収合併した子会社の株式会社ＵＫトレーディングは、グループ内取引を含めた売上高は49百万円、営業利益は１百万円となりました。

また、平成24年６月１日に会社分割（簡易新設分割）により設立した株式会社大田魚力については、開業費用を計上しております。

これらの施策の結果、グループ全体の卸売事業の売上高は９億14百万円（前年同期比19.7％減）、営業利益は29百万円（前年同期比181.8％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は47億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が３億26百万円減少したことによるものであります。固定資産は100億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億86百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が３億57百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、148億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億41百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は23億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億27百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が３億７百万円減少したことによるものであります。固定負債は２億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億56百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が１億76百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、26億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億84百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は121億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億57百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金のマイナスが１億91百万円増加したこと及び剰余金の配当２億92百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.0％（前連結会計年度末は80.5％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において平成24年５月８日の「平成24年３月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結累計期間において、株式会社大田魚力を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ538千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,660,873	1,885,304
受取手形及び売掛金	1,854,857	1,528,841
商品及び製品	1,030,460	1,029,487
原材料及び貯蔵品	17,524	17,603
その他	228,439	276,741
貸倒引当金	△5,242	△6,171
流動資産合計	4,786,912	4,731,806
固定資産		
有形固定資産	2,311,603	2,294,873
無形固定資産	366,786	350,278
投資その他の資産		
投資有価証券	5,926,389	5,568,851
その他	2,167,855	1,872,074
投資その他の資産合計	8,094,244	7,440,925
固定資産合計	10,772,635	10,086,077
資産合計	15,559,548	14,817,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,156,214	1,021,813
未払法人税等	341,536	33,649
賞与引当金	200,589	301,918
その他	916,588	1,030,291
流動負債合計	2,614,928	2,387,673
固定負債		
退職給付引当金	58,001	71,895
その他	365,827	195,135
固定負債合計	423,828	267,031
負債合計	3,038,756	2,654,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,441,946	1,441,946
利益剰余金	11,160,981	10,987,896
自己株式	△191	△191
株主資本合計	14,166,356	13,993,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△603,644	△795,584
土地再評価差額金	△1,039,645	△1,039,645
為替換算調整勘定	△2,275	△3,168
その他の包括利益累計額合計	△1,645,565	△1,838,397
少数株主持分	―	8,306
純資産合計	12,520,791	12,163,180
負債純資産合計	15,559,548	14,817,884

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	6,213,647	5,927,163
売上原価	3,710,724	3,491,956
売上総利益	2,502,922	2,435,207
販売費及び一般管理費	2,305,645	2,224,747
営業利益	197,277	210,459
営業外収益		
受取利息	6,464	10,145
受取配当金	6,449	9,696
不動産賃貸料	5,670	6,030
その他	4,306	5,167
営業外収益合計	22,890	31,039
営業外費用		
持分法による投資損失	－	334
不動産賃貸費用	3,280	3,314
デリバティブ評価損	2,289	12,240
為替差損	30,785	33,369
その他	－	623
営業外費用合計	36,355	49,880
経常利益	183,811	191,617
特別利益		
固定資産売却益	1,288	48
特別利益合計	1,288	48
特別損失		
固定資産売却損	－	152
固定資産除却損	684	27
持分変動損失	－	1,336
特別損失合計	684	1,516
税金等調整前四半期純利益	184,415	190,150
法人税、住民税及び事業税	56,692	27,456
法人税等調整額	28,164	41,554
法人税等合計	84,857	69,011
少数株主損益調整前四半期純利益	99,557	121,138
少数株主利益	－	1,827
四半期純利益	99,557	119,311

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	99,557	121,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,052	△191,940
為替換算調整勘定	△1,353	△836
その他の包括利益合計	△2,405	△192,777
四半期包括利益	97,152	△71,638
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,219	△73,521
少数株主に係る四半期包括利益	△67	1,883

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,838,708	235,946	1,138,991	6,213,647	－	6,213,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	266,038	266,038	△266,038	－
計	4,838,708	235,946	1,405,030	6,479,685	△266,038	6,213,647
セグメント利益	253,957	6,068	10,621	270,647	△73,370	197,277

（注）１．セグメント利益の調整額△73,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,789,728	222,496	914,939	5,927,163	－	5,927,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	22,646	22,646	△22,646	－
計	4,789,728	222,496	937,585	5,949,810	△22,646	5,927,163
セグメント利益	235,772	10,369	29,929	276,070	△65,611	210,459

（注）１．セグメント利益の調整額△65,611千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。